



桜美林大学
J. F. Oberlin University



災害対応ガイド

大学ウェブサイト <https://www.obirin.ac.jp/>



- 災害時には大学ウェブサイトにて、大学からの連絡、臨時休校措置などの情報を伝えます。
- 携帯端末機器が使用可能な場合は電池切れに注意して情報を収集するように努めましょう。

大学への安否確認

- 大規模災害が発生した場合、学生の安否確認を行います
- 災害発生時に登校していない場合、状況が落ち着いたら大学へ安否連絡してください。
- 学籍番号・氏名・現在の場所・被災状況・困っていることなどを連絡してください。

電話：【町田キャンパス】…………… 042-797-3128
 【新宿キャンパス】…………… 03-3366-0200
 【東京ひなたやまキャンパス】… 042-739-0080
 【多摩キャンパス】…………… 042-356-6522
 【PFC 事務室】…………… 042-704-7011

e-Mail 連絡先：anpi@obirin.ac.jp

- ◆大学内では大規模災害時に「安否情報カード」を配付します
- ◆配付されたカードに記入し職員に渡してください
- ◆提出できずに帰宅してしまった場合などは必ず左記連絡先に e-Mail など連絡してください

- 本マニュアルは、大学ウェブサイトにて閲覧・印刷できます
- ご家族にも事前にお伝えください



災害対応ガイド

大学にいるとき

地震が起きたら！

- 窓や棚・ガラスなどから離れる。蛍光灯・プロジェクターなどの落下物に注意。
- 机の下などにもぐるか、バッグや衣類などで頭を覆うなどして、頭部・手足を保護する。
- 余裕があればドア付近にいる人は、ドアを開け、出口を確保する。
- 実験中など火気使用時は身の安全を確認した上で、火を消す。また、薬品などから離れる。
- 広場やグラウンドなど、落下物がない場所にいるときは、その場で頭部を保護し座り込み揺れがおさまるのを待つ。

避難場所へ移動する判断基準

- ガラス・黒板・ロッカーなどが倒れるおそれがなく、天井からの落下物や薬品の流出が無いと確認できた場合は動かない方が安全である。



あわてて外へ飛び出さない

- 火災の拡大・建物の倒壊・地盤の崩壊などの危険が迫ったとき、または構内放送や教職員の誘導があるときはそれに従って避難する。
- 災害対策本部を設置し、その後の対応や情報等を説明予定。

最初の揺れがおさまったら

- パニックにならぬよう冷静に落ち着く。
- 建物の傾き・壁のひびなどを確認。
- 火災が起きていないか？可能な範囲で初期消火。困難な場合は火から離れる。
- 負傷者がいる場合は、可能な範囲で応急手当をし教職員に報告。救護所（一粒館の保健衛生支援室に設置予定）で受診。
- 余震の可能性もあるため、あわてずしばらく様子を見る。

行動に移るときの注意点

- 火災の場合は煙を吸わないよう、タオルやハンカチなどで口を覆う。
- どのルートで移動すれば安全か確認し、エレベーターは使わずに階段で移動。

通学中

- 周辺の状況に注意し、身の安全の確保を最優先する。
- 塀・電柱・自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- その場の被害状況を正しく把握する。
- 大学または自宅から近くの距離であれば、移動することを考える。
- 自宅・大学も遠い場合は、あわてて移動せずに、駅などで情報を得る。
- ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、近くの避難場所に移動する。
- 避難中は警察や消防の指示に従う。



臨時休校について

地震・台風・大雪などにより臨時休校になる場合は、大学ウェブサイトで告知します。

以下の判断基準に基づいて、授業実施が困難であると判断した場合には臨時休校とします。



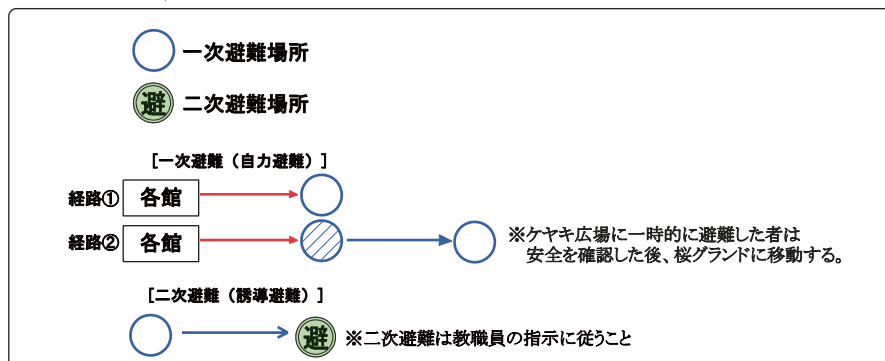
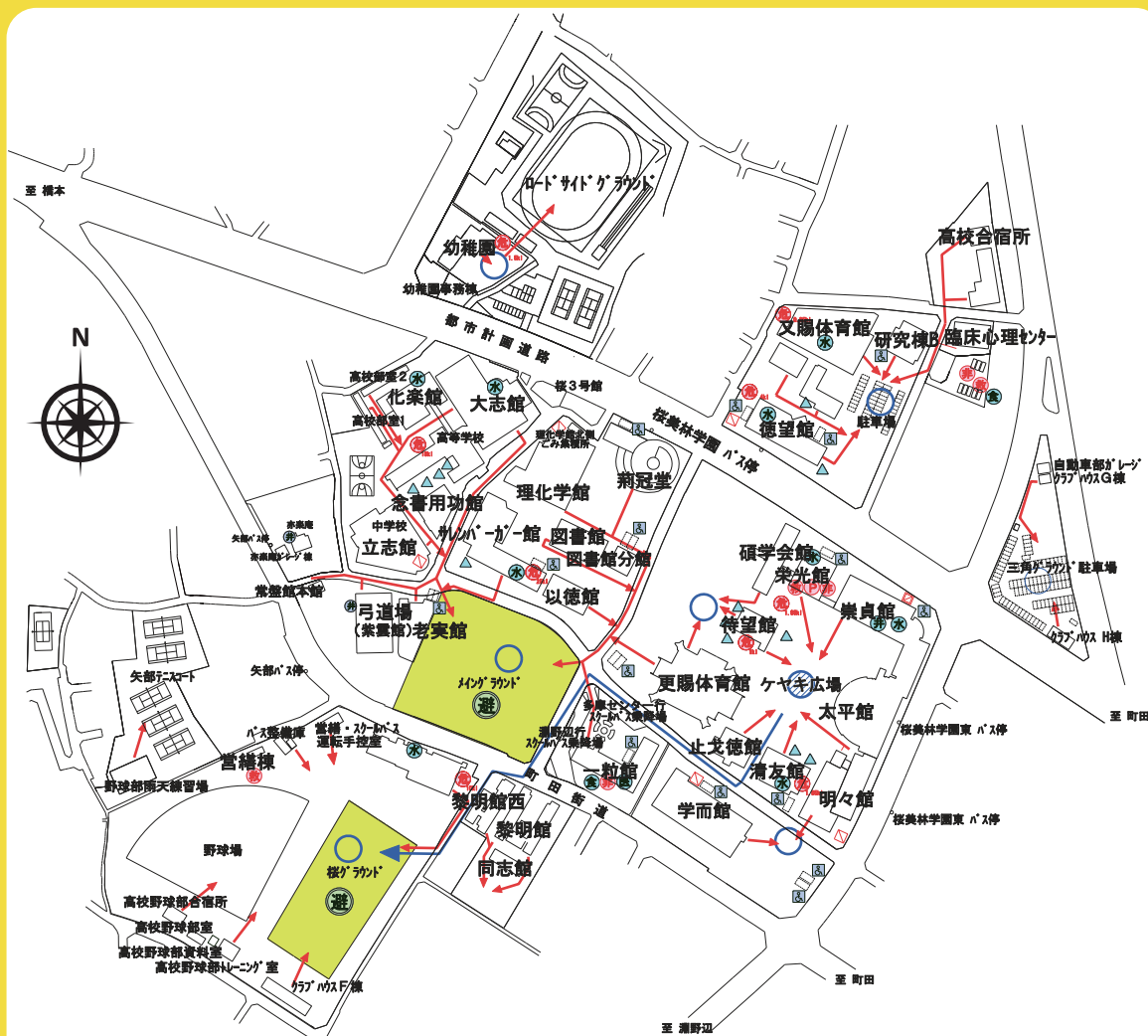
	状況		大学の対応	学生の対応
台風、大雪等 	町田 C・PFC・多摩 C：東京地方・多摩南部	新宿 C・四谷 C(千駄ヶ谷)：東京地方・23 区西部	キャンパスごとに以下の措置をとります	(1)大学ウェブサイトの告知を確認して指示に従い行動してください
	午前 6 時または午前 10 時現在 「大雨」「暴風」「暴風雪」「大雪」特別警報または警報が発令中の場合		【午前 6 時現在】 1・2 時限のみ「臨時休校」 【午前 10 時現在】 3 時限以降は「臨時休校」	(2)大学ウェブサイトによる告知がない場合は、左記のとおり「大学の対応」に従い行動してください
地震 	全キャンパス		全キャンパス	(1)原則として帰宅（自宅待機）としますが大学構内に避難（待機）することも可能です (2)学内にいる学生は大学からの連絡・指示に従い行動してください
	東京都もしくは神奈川県を中心とした震度 6 弱（烈震）以上の地震が発生した場合		(1)地震発生時以降自動的に「臨時休校」 (2)授業再開の期日は大学ウェブサイトにて告知	
	大規模地震災害特別措置法に基づく「警戒宣言」が発令された場合		(1)発令時以降自動的に「臨時休校」 (2)授業再開の期日は大学ウェブサイトにて告知	
その他	・交通機関が不通になった場合は、全学休講措置はとりませんが、授業担当者が出校不能で休講となる場合があります。 ・感染症の流行の恐れ等の事態が発生した場合・その他臨時休校の措置が必要と大学が判断した場合は、大学ウェブサイトで告知します。学生はその告知内容に従い行動してください。 ・休校の対象とならない気象警報や各キャンパスが所在する地域には、気象警報が発令されていないが、学生の皆さんが住んでいる地域に気象警報が発令され、登校が困難な場合は、後日授業担当教員に連絡してください。 ・状況に応じ、上記と異なる対応をとる場合があります。			

町田キャンパス避難図

☎ 042-797-3128

あわてて外へ飛び出さない

火災の拡大、建物の倒壊などの危険が迫ったときに状況に応じて避難する



本学の校舎は東京消防庁から優良防火対象物の指定を受ける等
 安全面に最大限の注意を払って建設されています

新宿キャンパス避難図

☎ 03-3366-0200

あわてて外へ飛び出さない

火災の拡大、建物の倒壊などの危険が迫ったときに状況に応じて避難する



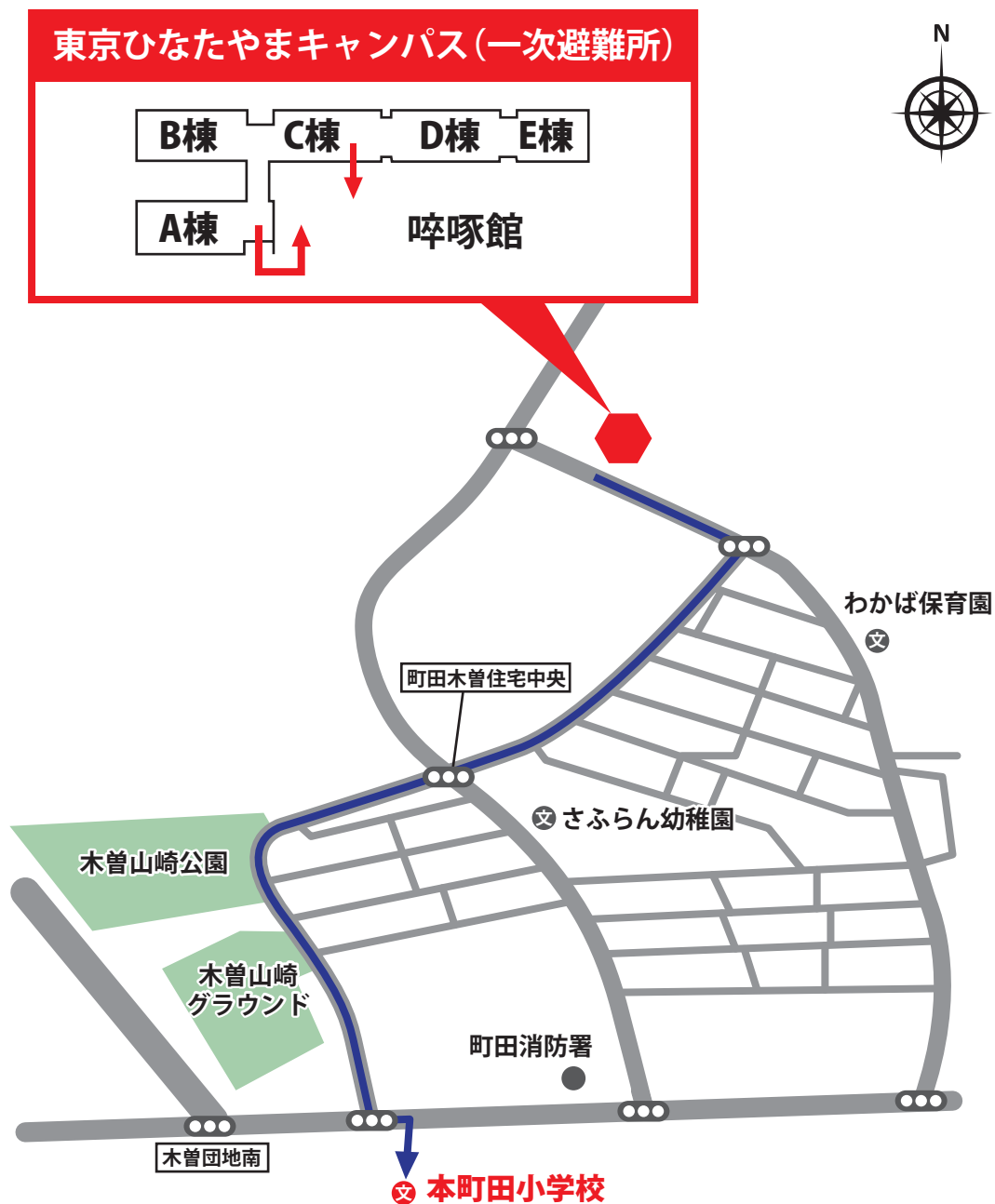
- 一次避難経路
- 二次避難経路 (避難場所: 西戸山小学校)

東京ひなたやまキャンパス避難図

☎ 042-739-0080

あわてて外へ飛び出さない

火災の拡大、建物の倒壊などの危険が迫ったときに状況に応じて避難する



→ 一次避難経路
→ 二次避難経路（避難場所：本町田小学校）

多摩キャンパス避難図

☎ 042-356-6522

あわてて外へ飛び出さない

火災の拡大、建物の倒壊などの危険が迫ったときに状況に応じて避難する



- 一次避難経路
- 二次避難経路 (避難場所：旧西落合中学校グラウンド)

PFC(プラネット淵野辺キャンパス)キャンパス避難図

☎ 042-704-7011

あわてて外へ飛び出さない

火災の拡大、建物の倒壊などの危険が迫ったときに状況に応じて避難する



→ 一次避難経路

→ 二次避難経路 (避難場所: 青山学院大学相模原キャンパス)

大地震が発生したら？

多くの人が帰宅困難に！

公共交通機関の運転中止
交通規制など激しい渋滞



台風や大雨等の災害でも帰宅困難
になる可能性がある

むやみに移動せず
状況確認

まず、自分の安全を確保
災害用伝言板などで安否を知らせる

帰宅は状況が
落ち着いてから

多くの人が一斉に帰宅を始めると、
道路や駅周辺では大混雑が発生し、
大変危険な状況が発生する

- 災害時の歩行速度は時速 2.5km、10km の移動に 4 時間を要するといわれている。
- 家族の状況が不明・連絡不通など、災害時の不安感を軽減させるためにも伝言サービスを利用する。

e-Campus を
確認してください



<https://www.obirin.ac.jp/e-campus/>

休講情報

教室変更

補講情報

時間割変更

地震後は冷静に行動

- 地震直後は、むやみに動かず周りの安全を確認する。
- 余震の恐れがあるので、倒れやすいものから離れ、落下物に注意。
- 今いる場所が安全な場合はすぐに外に出ない。(本学の教室棟はすべて新耐震基準をクリアしている。)
- 非常口やドア等を聞いて避難口を確保。
避難は徒歩で、荷物は最小限にする。
(火を扱っている場合は、身の安全を確認した上で火の始末をする。)
- エレベーターは使用せず階段で避難。(本学のエレベーターは地震が発生した場合、自動的に停止するシステムになっている。)
- 正確な情報収集に努め、なるべく 1 人では行動しない。
- 協力し合い、負傷者の救護や初期消火に努める。
- 家族との安否確認、および大学へ安否連絡。

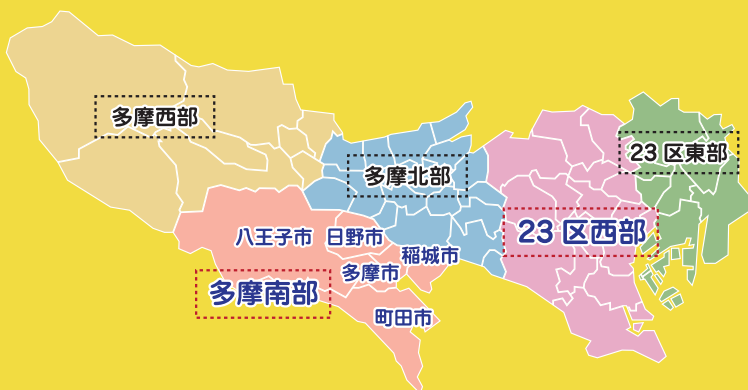


豆知識

特別警報とは

- これまでの警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」が発表されます。
- 「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。この数十年間災害の経験が無い地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。
- 特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。注意報・警報を活用して、早め早めの行動をとることが大切です。

気象警報・注意報や天気予報の発表区域 東京地方（東京 23 区及び多摩）



令和 2 年 1 月 31 日現在

気象庁 HP より引用

家族同士で安否連絡をする

地震・台風・大雪などにより臨時休校になる場合は、大学ウェブサイトで告知します。
以下の判断基準に基づいて、授業実施が困難であると判断した場合には臨時休校とします。

NTT災害伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤル(171)は、被災地の方の電話番号をキーにして、安否等の情報を音声で登録・確認できるサービス



- ◆利用可能端末：NTT 加入電話、公衆電話、携帯電話等
- ◆提供開始：地震等の災害発生時などに開始される
- ◆伝言録音時間：1 伝言あたり 30 秒以内
- ◆伝言保存期間：録音してから 48 時間
- ◆伝言蓄積数：電話番号あたり 1~10 伝言

1 7 1 にダイヤル

ガイダンスが流れます

録音は 1

再生は 2

自分の電話番号

確認したい相手の電話番号

ガイダンスに従い録音する

録音された安否情報等を聞く

東京都防災ホームページ

大規模災害時に携帯電話等から安否情報の登録や確認等ができるサービス

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/>

毎月 1 日と 15 日体験利用が可能（通信料は有料）万一来て、家族同士で事前の練習をしましょう

